

BeoPort

ガイド

承認および責任事項

本書に記載されている製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote® 社および Gracenote CDDB® 音楽認識サービスによって提供されます。Gracenote は、音楽認識と関連コンテンツ配信における、業界標準の技術です。詳細については、www.gracenote.com をご覧ください。
- Gracenote からの音楽関連データおよび Gracenote CDDB Client ソフトウェア © 2003, all rights reserved. 本製品およびサービスは、次の米国特許を所有しています。#5,987,525; #6,061,680; #6,154,773; #6,161,132; #6,230,207; #6,230,192; #6,240,459; #6,330,593 およびその他の特許が付与/発効されているか、あるいは出願中です。提供されるサービスおよび製造される機器には、Open Globe 社の米国特許 #6,304,523 に基づくライセンス許可を受けているものがあります。
- Gracenote CDDB Service は、統計を目的として、一意の識別を使用してトラッキングとクエリーを実行します。- 無作為に割り当てられる数字による識別は、Gracenote CDDB サービスがクエリーをカウントすることを目的とし、利用者の身元は確認いたしません。Gracenote CDDB Service の詳細については、Gracenote Privacy Policy ページを参照してください。



Gracenote、CDDB、Gracenote ロゴ、CDDB ロゴは、Gracenote 社の登録商標です。“Powered by Gracenote” ロゴは、Gracenote 社の商標です。



製品の一部は、Microsoft Windows Media Technologies に基づいています。Copyright© 2000 Microsoft Corporation. All rights reserved. Microsoft、Windows Media、Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

MicroOS オペレーティングシステム (米国特許 #5,787,445)

Bang & Olufsenは、ソフトウェアを使用または使用できなかったことから生じる、結果的、偶発的、間接的な損害に対して、いかなる場合も責任を負いませんので、ご了承願います。

安全のために

- ケーブルの接続を下向きにして BeoPort を取り付けないでください。BeoPort を水にさらしたり、上に物を置いたりしないでください。電源プラグは正味電圧から分離 (スイッチ・オフ) させます。壁のコンセントは装置に近く、アクセスが簡単でなければなりません。
- BeoPort は直射日光やスポットライトなどの人口光の当たらない場所に設置してください。BeoPort は温度 10–40 °C (50–105 °F) の家庭環境の乾燥した室内で使用するように開発されています。
- BeoPort を開けないでください。そのような作業は資格のある専門家にお任せください。

警告：感電の恐れがあるため、ブレードを完全に差し込んでブレード露出を防がない限り、延長コードのついた分極プラグ、ソケット、その他コンセントを使用しないでください。

目次

当ガイドはインストールに関する全概要、コンフィギュレーションの基本的な内容、日常の使用に関する本質を提供します。P5 の『**使用を開始する前に ...**』の章にある順番に従って行うことをお勧めします。

BeoPort には当ガイドに加え、BeoPort をインストールするとアクセスが得られる On-Screen Guide が含まれています。

使用を開始する前に ...、5

欠陥のないインストールと BeoPort への迅速なアクセスを得るために説明の手順に従ってください。システム要件の一覧表も記載しています。

BeoPort のセットアップ、6-7

BeoPort のセットアップのしかた、Option 番号とは何か、ケーブルの接続のしかたをご覧ください。

BeoPort のインストール、8-9

TV チューナーカード有・無いいずれのインストールを行うかを選択します。BeoPort インストールの修復またはアップグレードのしかたもご参照いただけます。

BeoPort のコンフィギュレーション、10-11

必要なコンフィギュレーション設定のしかたについて。この章では基本的な設定と BeoPort の登録のしかたを説明します。

日常の使用、12

開始。

N.MUSIC を再生する前に ...、13

既に PC に保存されている音楽トラックのスキャンのしかた。

索引、14

BeoPort のインストールを正しく行うには、このページで説明されている順番に従って行ってください。

- 1 BeoPort セットアップがシステム構成を満たしていることを確認します
- 2 BeoPort のセットアップを行います (P6)
- 3 BeoPort のセットアップを行います (P7)
- 4 BeoPort を TV チューナーカードとドライバーとともにインストールします (P8-9)
- 5 BeoPort のコンフィグを行います (P10)
- 6 登録 (P11)

BeoPort の要件

BeoPort アプリケーションをインストールするには、ご使用のパソコンが以下の要件を満たしていなければなりません：

ハードウェアの要件

- Pentium-class PC (233 MHz 以上) 必要なディスク空き容量 50 MB
- 64 MB RAM 以上
- Super VGA モニター、解像度 800x600、16 ビットカラー以上
- USB ポート接続 x 1

オペレーティングシステムの要件

- Windows 2000 または XP
- DirectX 8.0a 以降
- Media Player 9.0 以降

ブラウザの要件

- Internet Explorer 4.01 以降

ブラウザ設定の要件

Explorer で有効にする必要があるインターネットオプション：

- 著名済み ActiveX コントロールのダウンロード
- ActiveX コントロールの実行
- スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロール
- アクティブスクリプト

TVチューナーカード

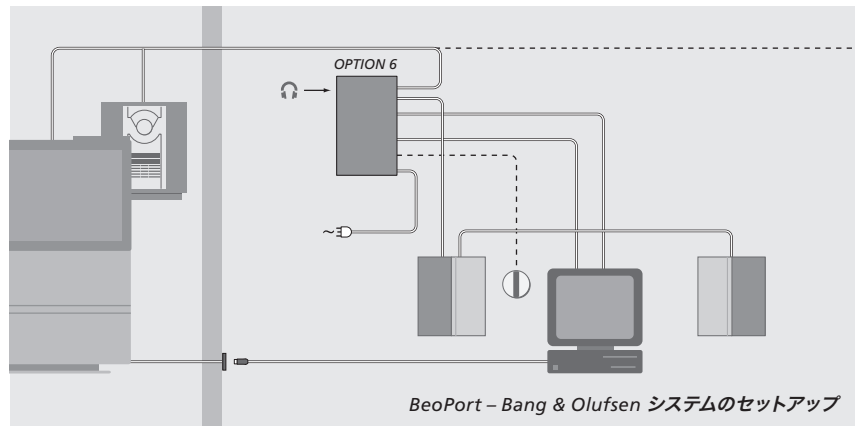
TVチューナーカードをお使いになる場合、BeoPort との互換性をお確かめください。TVチューナーカードの互換性に関する更新情報については、www.beoplayer.com をご覧ください。TV チューナーカードによっては、ご使用のパソコンが上記以外のソフトウェア要件を満たす必要がありますので、ご注意ください。詳細については、TVチューナーカードの説明書を参照してください。

BeoPort 設定

BeoPort は他のリンク可能な Bang & Olufsen 製品と共に様々なセットアップを行うことができます。このページではそれら様々なセットアップを行うことができます。このページではそれら様々なセットアップの中の一例を示し、必要な接続と共にご覧いただけます。

ご注意: 国によってビデオソースの使用が限定されている場合があります。詳細は最寄りの販売店にお問い合わせください。

BeoPort の接続に関する詳細は次のページをご覧ください。USB の接続以外は、すべて BeoPort のソフトウェアをインストールする前に行ってください。



Option 番号の設定

機能を設定するために、BeoPort ボックスやセットアップに使われるリンク製品は、どのような環境に設置されているか『知る』必要があります。そのためは、セットアップで使用されている各製品に Option 番号を選ばなければなりません。インストールが終了したら、Configuration menu を使用して BeoPort のために Option 番号を選びます。コンフィグレーション (P11) をご参照ください。

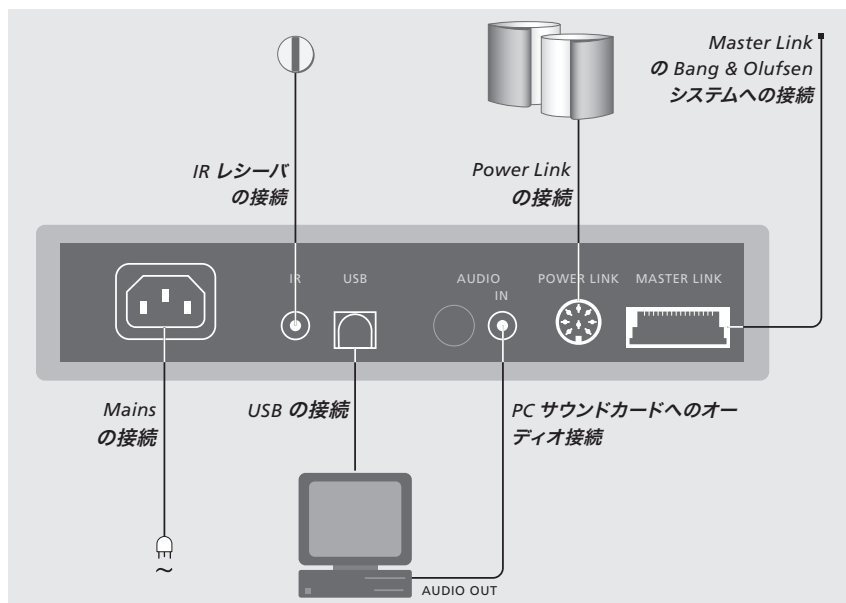
リンク製品のための『Option』番号設定は、それらの製品に同封されている書類をご参照ください。

BeoPort - Bang & Olufsen システムのセットアップ

上記に示されたセットアップは一般的なシステムセットアップの一例です。この例では BeoPort ボックスを Option 6 (デフォルト設定) にセットします。ある部屋に置かれた PC から、メインルームまたはリンクルームのソースを聴くことができます。IR レシーバが接続されていると Beo 4 リモコンでシステムを操作することができます。BeoPort 経由でソースの遠隔操作を行うには、PC がオンになっていなければなりません。

BeoPort ボックス用追加 Option

Option 6 に加え、Option 0、2、4 を選ぶことができます。Option 0 は IR レシーバを稼働させないセットアップで使用します。Option 2 は PC をメインルーム製品として使う場合に使用します。Option 4 はメインシステムと同室に設置されているリンクルーム製品に使用します。これら Option の使用には限界がありますので、選択に関する詳細は販売店にお問い合わせください。



BeoPort ボックスは壁または PC 用デスクなどに固定してください。

Master Link の接続

Master Link 接続により、PC から家中の Bang & Olufsen 製品へシグナルを送信することが可能となります。

Power Link の接続

Power Link スピーカーを BeoPort セットアップに接続する場合、Power Link ソケットを使用します。

オーディオ接続

BeoPort ボックスと PC サウンドカード間のオーディオ接続を行うことで、PC からのアナログサウンドを接続された製品に転送することが可能となります。

USB の接続

同封されている USB ケーブルを使用して BeoPort ボックスを PC に接続します。

重要! 画面上に指示が出るまで、決して USB ケーブルを接続しないでください。このケーブルを接続するために PC のスイッチをオフにする必要はありません。

IR レシーバの接続

Option の IR レシーバを PC に接続するには IR ソケットをお使いください。これにより、Beo4 リモコンを使って異なるソースを直接操作することが可能となります。

電源の接続

付属製品、スピーカー、PC、BeoPort ボックス (およびすべての PC 関連装置) は必ずアースの付いた壁のコンセントに接続してください。

BeoPort のインストール

BeoPort 用の CD を CD ドライブに挿入すると、BeoPort のインストール・メニューが画面に現れます。

BeoPort のインストールを選んでインストールを開始します。作業の途中で、TV チューナーカードと共にインストールを行うか、無しで行うかを問われます。

インストールされている TV チューナーカードが、互換性のあり既に使用しているか、PC 画面で PC を見たくない場合は、PC チューナーカード無しのインストールを行います。TV チューナーカードは必要になった時点でいつでもインストールすることができます。

このインストール・メニューには必要なシステム構成や互換性のある TV チューナーカードに関する情報が含まれています。

インストールの手順

- > メニューから *BeoPort* のインストールを選びます。
- > 画面上の指示に注意深く従ってください。
- > TV チューナーカードをインストールするよう指示が出たら、カードに付いてきた説明書に従ってカードを取り付けます。
- > チューナーカードに付いているオーディオケーブルを使ってチューナーカードとサウンドカードを接続します。

BeoPort のインストールの最後に、BeoPort ボックスから PC の USB コネクタへ USB ケーブルを接続するよう指示が現れます。

- > **指示がでたら (それ以前ではなく) USB の接続を行ってください!**

ソフトウェアのインストールが完了すると、自動的に BeoPort Configuration プログラムを開始します。

◀ グラフィックカードが既に取り付けられている場合、それを取り外さなければならないことがあります。その場合、TV チューナーカードは TV チューナーカードとグラフィックカード両方の機能を果たします。

◀ これにより BeoPort のための USB ドライバーのインストールが開始されます。

◀ *BeoPlayer*、*BeoLink PC Office*、*BeoLink PC 2* のインストールを以前に行っている場合、衝突を避けるためこれらのソフトウェアは自動的に消去されます。

ご注意! CD を挿入してもインストール・メニューが自動的に現れない場合、開始メニューから『Run』を選び、コマンド欄に *X:\InstallGuide.exe* を入力します。(このとき、*X* には CD ドライブ名となっている文字を入力してください)。

BeoPort インストールの修復/アップグレード

ファイルを削除してしまったなどの理由により、BeoPort の構成要素が見つからない場合、インストールを修復またはアップグレードするためにインストール・プログラムを使用することができます。

- > 開始メニューから『Run』を選び、コマンド欄に `X:\Installguide.exe` を入力します (このとき、X には CD ドライブ名となっている文字を入力してください)。
- > Installation のメニューからインストールの修復/アップグレードを選びます。
プログラムが PC には既に BeoPort がインストールされているとみなした場合、BeoPort Maintenance プログラムを使用します。
- > 現在行っているインストールに対し、修復、アップグレード、消去のいずれかを行うか選択します。
- > Next をクリックして続きます。
- > 画面上の指示に従って、選択した処理を完了させてください。

BeoPort のコンフィグレーション

Configuration menu * 内で BeoPort のための設定や調整を行います。

この章では、正しい Option 番号の設定を含め、PC TV を見るためにはどうしたらいいかを説明します。

また Configuration menu には、セットアップによっては考慮すべき様々な設定が含まれています。ですから『Configuration menu』内をクリックし、必要に応じて On-Screen Guide の説明で詳細を参照しながらそれらをご確認ください。

初めて BeoPort のコンフィグレーションを完了すると、次ページに説明があるように登録をするよう指示が現れます。

自動調整

TV チューナーカード用に TV チャンネルの自動調整を行う前に、接続がケーブルを通してかまたはアンテナを通してか、また正しい国名が表示されているかなど、『Video System』に正しい放送システムが表示されていることをご確認ください。

送信を受けるには、アンテナまたはケーブルが PC に直接接続されていなければなりません。

『BeoPort Configuration』メニューから ...

> Tune タブをクリックして、調整・プリセットを行います。

> AutoTune をクリックして TV チャンネルの自動調整を開始します。

調整中、検出されたチャンネルがディスプレイに表示されます。調整はいつでも中止することができ、既に検出されたチャンネルは保存されます。

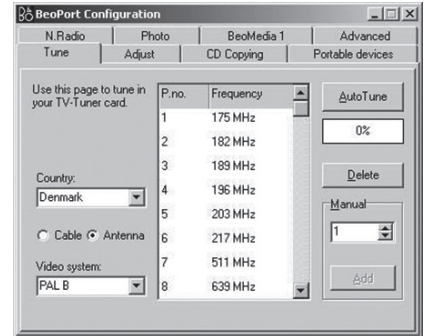
マニュアル調整

自動調整で見つからなかったなどの理由でチャンネルをマニュアルで調整する場合、Tune メニューの Manual セクションへ行きます。

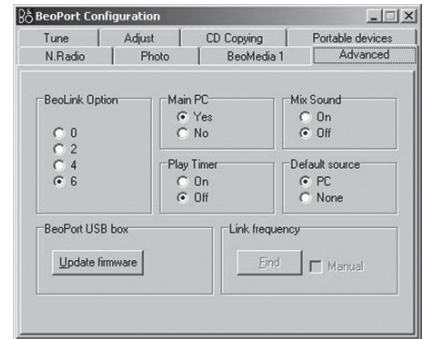
> Manual セクションでは、小さい矢印を使ってチャンネルをクリックしていきます。

> 追加したいチャンネルが見つかったら Add をクリックします。

TV チューナーカードでは、調整した TV チャンネルはプログラム番号とチャンネルとして登録されます。ご注意：すべての TV チューナーカードが標準的な TV チャンネルの番号にしたがっているわけではありません。



Configuration menu 内の『Tune』タブ。



Configuration menu 内の『Advanced』タブ。

*ご注意! BeoPort をインストールすると、BeoPort Configuration メニューが自動的に現れます。後日このメニューにアクセスするには、コントロールバー内の SETUP の下にある CONFIG を選んでください。On-Screen Guide にアクセスするには、コントロールバー内で GUIDE を選んでください。

Option 設定

BeoPort はセットアップに対応した正しい Option に設定されなければなりません。

Option 番号の設定 ...

- > CONFIG を選んでメニューにアクセス。
- > Advanced タブを選んで、Option 設定を呼び出します。
- > リスト (0、2、4、6) からの確な Option の番号を選びます。

Option 設定に関する詳細は P6 をご参照ください。

BeoPort の登録

初めて BeoPort のコンフィグを完了すると、インターネットへのアクセスがある場合、登録をするよう指示がでます。登録をしなくても BeoPort を使用することは可能ですが、CDDB* からのサービスを受けるためには登録が必要となります。Bang & Olufsen では登録手続きから得たデータを極秘扱いいたします。

まだ登録をされていない場合 ...

登録フォームが画面上に現れます。

- > New User をクリックして、フォームに必要な事項を入力してください。

既に登録が済んでいる場合 ...

- > User Name と E-Mail アドレスを入力してください。

CDDB 情報を受け取るには、PC がインターネットに接続され、オンラインになっていなければなりません。インターネットのアクセスをお持ちでない場合、登録指示は現れませんが、後日アクセスを得られた時に登録指示が現れます。

*CDDB は音楽情報に関する保存および送付サービスです。CDDB は GraceNote, Int のサービスです。CDDB のデータベースから得られる情報は『タグ』情報であり、アーティスト名やアルバムのタイトルなど通常 N.MUSIC のトラックに付記されるものです。このサービスは、BeoPort を使用中にインターネットが接続されている状態でのみ正しく機能します。

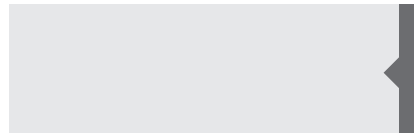
日常の使用

BeoPort のインストールが終了したら、BeoPort の全機能に関するナビゲーターとも言えるコントロールバーを呼び出します。



開始

システムトレイの B&O アイコンをクリックし BeoPort をスタートさせます。マウスのカーソルを右端に移動し、三角形のタブ (右側に表示) をクリックしてコントロールバーを呼び出します。



< PC TV > クリックして PC TV などのスイッチをオンにします。左に示されているようにソース < > が付いて表示される場合、< または > をクリックすると付加的なソースが現れます。

PC TV ステータス・ディスプレイには現在使用しているソース、チャンネル、局、トラック番号などが表示されます。



▲ または ▼ をクリックして、TV チャンネル、CD トラックなどの間を上下に移動します。
◀ または ▶ をクリックして CD/テープを巻き戻しまたは早送り、または CD から CD へ移動します。



カラーボタンは選択されたソースによって別々の機能を持ちます。

GO クリックして一時停止したソースの再生を再開します。

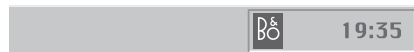
STOP クリックしてソースの再生を一時停止します。

^
< **MUTE** >
v
クリックして音量を調節します ^ と v の間にある MUTE をクリックして消音し、音量ボタンを押して音を復帰させます。< または > をクリックして MUTE HP を表示させ、ボタンが現れたらクリックしてヘッドホンを消音させます。

SETUP クリックしてソース別の Option をご覧下さい。

GUIDE クリックして On-Screen Guide にアクセスします。

● スタンバイに戻る ● を 2 秒間押し続けると、全てのソースがオフになります。● を 2 度クリックすると、BeoPort のコントロールバーとアプリケーションを終了します。



ショートカット

一旦 BeoPort のアプリケーションがインストールされると、自動的に B&O のアイコンがシステムトレイに挿入されます。

一度アプリケーションを終了させたら、スタートメニューにある BeoPort のディレクトリから BeoPort を開始するか、システムトレイにある B&O アイコンのショートカットを使用します。

ご注意! ソースを換えるとコントロールバーの表示が変わり、選ばれているソースに使用できる Option が表示されます。詳細は On-Screen Guide をご参照ください。

N.MUSIC とは、インターネットやオーディオ CD などから PC に保存された音楽を指す Bang & Olufsen 独自の名称です。

この章では N.MUSIC を再生する前にしなければいけないことを説明します。

このページの説明に従ってスキャンを終了したら、『日常の使用』や On-Screen Guide で詳細をご覧ください。

トラックのために PC をスキャン

N.MUSIC を初めてお使いになると、再生できるトラック* のためにコンピュータ検索するよう指示が出ます。初めて N.MUSIC をお使いになる場合、トラックの保存を目的として特定のドライブを初めて使う場合には必ずスキャンが必要です。

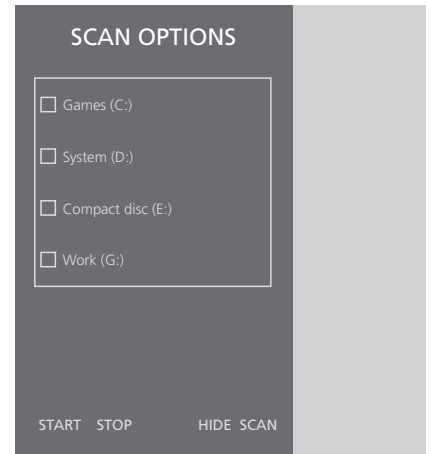
SCAN OPTIONS メニューが画面上に現れます ...

- > カーソルを該当するドライブの入力ボックスに移動します。
- > ドライブに印を付けるには 1 度、印を取るにはクリックします。
- > **START** をクリックしてスキャンを開始します。ドライブセレクション。ボックスの下に進捗状況が赤で表示されあます。
- > スキャンを中止するには **STOP** をクリックします。
- > SCAN OPTIONS メニューを隠すには **HIDE SCAN** をクリックします。完了するまでスキャンを継続します。

スキャンが完了したら ...

- > コントロールバーの **N.MUSIC** をクリックすると、最初のトラックから再生を開始します。

トラックがアーティスト名、トラック名、アルバム名、ジャンルなどの『タグ』情報を持つ場合、これらの情報もスキャンと同時に保存されます。



*ご注意：一度 N.MUSIC にアクセスすると、その後 N.MUSIC にアクセスする度に、音楽が最初に保存されたドライブのアップデートが密に行われます。ですから、音楽を他のドライブに移した場合にのみ再度スキャンが必要となります。

索引

Beo4 リモコン

システムセットアップの IR レシーバ、6

CDDB

CDDB 情報と登録、11

コンフィグレーション

TV チューナーカードの自動調整、10

Configuration menu の呼び出し、10

TV チューナーカードのマニュアル調整、10

Option 設定、6、11

接続

Master Link、Power Link、オーディオ、USB、
IR レシーバ、電源の接続、7

コントロールバー

日常の使用、12

Configuration menu の探し方、10

ドライバー

ドライバーのインストール、8

インストール

ドライバーのインストール、8

インストール、8

インストールの修復/アップグレード、9

TV チューナーカードのインストール、8

N.MUSIC

N.MUSIC とは?、13

トラックのために PC をスキャン、13

On-Screen Guide

コントロールバー上の Guide の呼び出し、12

Option

Option 設定とは?、6

各種の要件

ハードウェア、オペレーティングシステム、プラ
ウザ、TVチューナーカードの要件、5

登録

BeoPort の登録、11

スキャン

トラックのために PC をスキャン、13

セットアップ

Bang & Olufsen システムのセットアップにお
ける BeoPort、6

Option 設定、6

BeoPort ボックスの設置、7

コントロールバー上の Setup ボタン、12

サウンドの調節

消音、12

ヘッドホンの消音、12

TV チューナーカード

TV チューナーのコンフィグレーション、10

必要なチューナーカード、5

USB

USB の接続、7

USB の接続はいつ行うか?、8

廃電気電子機器指令 (WEEE) – 環境保護

欧州議会と欧州閣僚理事会は、廃電気電子機器指令を施行しました。この指令は、電気電子機器の廃棄予防および再使用・リサイクルの促進を目的とし、生産者、販売者、消費者のいずれもが責任を負う必要があります。

WEEE 指令では、環境保全および再使用のために、生産者と消費者の双方に対して、電気電子機器・部品を安全な方法で廃棄回収することが義務付けられています。

電気電子機器・部品は、家庭ごみとして処分できません。分別回収して廃棄する必要があります。

再使用・リサイクルのために回収の必要がある電気電子機器には、マークが表示されています。



各地域で有効な回収手段を利用することが、環境や人々の健康の保護、資源の有効活用に役立ちます。電気電子機器の廃棄回収により、機器に含まれる有害物質による汚染を未然に防ぐことができます。

各地域での廃棄方法については、Bang & Olufsen 販売店にご相談ください。



当製品は EEU directives 89/336 および 73/23 を全て満たしています。

技術仕様、製品の特徴、使用方法などは、事前の予告なく変更されることがありますので予めご了承ください！

